

20 世紀最大級の土砂災害地「稗田山」大崩

壊地を歩くスキーで見に行きました。

2011.3.17 (木) 晴れ

東日本大震災で出歩くことを控えていましたが、Mさんからお誘いがあり、最近Mさんとはなかなか同行の機会がなかったので喜んでOKしました。
自宅 7:30～ 8:50 小谷村石坂部落上 9:10～11:15 地すべり調査用施設 11:25～11:40 折り返し地点(昼食) 12:45～13:40 入山地点 13:55～
梅池高原ロッジ「梅」にてオーナーと談話～白馬ハイランドホテル「天狗の湯」で入浴～アチコチ寄って 自宅 18:10

驚いた事に、青木湖はまだ7割くらい湖面が凍っている。中綱湖は9割も。3月に入っても寒い日が続くせいだと思う。風吹大池への北野登山口の北野部落手前の橋の手前に車を置き歩き始める。基本的には林道を進むが時々「短絡」する。トレースはまったく無い。カーブミラーが鏡しか顔を出していない。かなりの積雪だ。無風で暖かい。林道は珍しい位に斜度が緩い。歩くスキーには「うろこ」(ステップカット)がついているのでこの位の斜度なら苦なく登れる。それでも汗が出る。久しぶりの汗で、体の中の老廃物が出た感じで気持ちが良い。地すべり観測用の施設に着く。

地すべり調査用施設と後方は稗田山



地すべり地帯・吊り橋を渡りました



前方に立派な吊り橋も見える。見上げる山々は大崩落の跡が生々しい。1911(明治44年).8/8に稗田山で20世紀最大級の崩落(土砂災害)があり、26名が亡く

なり、糸魚川市まで災害が及んだとの事。吊り橋を渡り、展望の良い場所で昼食休憩とする。堂津岳から雨飾山までの展望が素晴らしい。

Mさん・後ろは雪庇です



右から堂津岳、黒姫山、金山、雨飾山



特に堂津岳は昨年 5/2 に「信州百名山」完登達成した思い出の山である。目の前は大崩落跡。今回の東日本大震災に比べれば災害の規模は小さいが「災害は忘れた頃にやってくる」である。ユックリ展望を楽しみ帰路はスキーなので、滑って下れる。でも気温が上がり、雪が柔らかくなり、勾配もゆるいので、時々滑らなくなる。帰りに栂池高原のロッジ「栂」に寄る。ここの奥さんは手話ができるし、筆談もお上手。難聴者が泊まるには便利な宿です。大震災の影響でスキー場は閑散としている。スキー場、宿は19日からの3連休もキャンセルが相次いだとの事。増々不景気が進行しそうだ。

白馬ハイランドホテルの天神の湯で入浴



オーナー夫妻と歓談し白馬ハイランドホテルの「天狗の湯」で汗を流す。ここも.昨年スキー場が閉鎖したが、野天風呂からの八方尾根方面の眺めは素晴らしい。Mさん楽しい一日有難う御座いました。